

「子どもの貧困」と学校・教師の役割

—山陰地域の実態・取組を知り・学び・考える—

「子どもの貧困」が大きな社会問題になっています。平成 25 年には「子どもの貧困対策の推進に関する法律」も成立し、様々な対策が進められています。しかし、学校・教師は、「子どもの貧困」にどのように関わればよいか、よく分かっていないというのが現状ではないでしょうか。

そこで、今回は島根県社会福祉士会の長廻芳行氏をお招きし、下記のとおり松江市を中心とした「子どもの貧困」についての実態、「負の連鎖」を断ち切るための様々な取り組みをご紹介します。そして、これをもとに、学校・教師としてどのように考え、ソーシャル・スクール・ワーカー（SSW）をはじめとする外部の専門家とどのように連携していけばよいかについて考えてみたいと思います。

対象は・・・

教育委員会や教育センターの先生方、各学校の管理職の先生方、福祉との連携にご関心のある先生方！
教員をめざす学部生・大学関係者の参加も歓迎！

1 内容

- (1) 山陰地域の「子どもの貧困」の実態（講演）
- (2) 「負の連鎖を防ぐ」ための山陰地域のさまざまな取組（講演）
- (3) 「学校」として／「教師」として、どう動き・どうつながるか（全体ディスカッション）

講師 長廻 芳行 氏（社会福祉士・島根県社会福祉士会）

2 日時・会場

令和元年 10 月 10 日（木） 13:00～14:40

島根大学教育学部棟 4 5 1 室

（教職大学院カンファレンスルーム）

3 講演会へご希望の方へ

- ・どなたでも参加できます。
- ・事前申し込みは不要です。

<本件に関するお問い合わせ先>

島根大学教職大学院 丸橋静香

E-mail: inoues@edu.shimane-u.ac.jp

Tel/fax: 0852-32-6369（直通）